

第一部

1. 復歸の園

W. REV. MOON
M. ANONYMOUS

1. 千歳ちとせの願い荒れの園に
勝利もとの基いを求めて
尽くし来られた血のみ跡あと
これが父たもの賜う愛　これが父の賜う愛
2. 幸さちの花咲く自由の道
楽しい望みの花咲きて
喜びうれしい園の香り
これが父の望む理想　これが父の望む理想
3. 咲きそむ自由　幸の園
うれしく楽しい父のもと
永遠とわに生きゆく花の園
これが父の願う園　これが父の願う園
4. 永遠とわの願いのこの理想
父が立てたもう本然もとの国
楽しく香りて誉れほま帰きせ
これが父つくの創よしる善　これが父の創る善

2. 聖苑のめぐみ

W. REV. MOON
M. ANONYMOUS

1. 限りなき恵みはわれに与わる
永遠の生命 喜びなり
われ今 楽しく常に^{たた}讃えん
栄光を高く捧げまつれ
2. 一つの喜びわが胸に得て
^{のぞみ}理想を立て 常に歌わん
われ今 楽しく常に^{たた}讃えん
栄光を高く捧げまつれ
3. ^{とわ}永遠の^{いのち}生命われにあふれて
万の祝い ただ^ほ誉めまつれ
われ今 楽しく常に^{たた}讃えん
栄光を高く捧げまつれ
4. 選ばれし恵みにわれ感謝して
誠を尽くして み前にひれ^ふ伏さん
われ今 楽しく常に^{たた}讃えん
栄光を高く捧げまつれ

3. 聖励の新歌

W. REV. MOON
M. ANONYMOUS

1. 創^{つく}られしこの地にわれ生まれ
自由と幸のため 選ばれて
真理で求めし聖霊のみ旨^{じゆ}
この身供えて成し遂げん 成し遂げん
2. 強く呼びたもう聖励の声
新エデンの知らせを宣べ伝え
建設集いにこの身を捧げ
自由の国を成し遂げん 成し遂げん
3. 成さばや新たな主の家庭を
父の訪ねたもう永遠^{とわ}の理想
主のみ言^{ことば}をあまねく伝え
新天新地を成し遂げん 成し遂げん
4. わが主の立てたもう一つの義に
新しき歴史は始まりぬ
栄光の理想なる善^よき父母^{はべ}に侍り
平和の秩序を打ち立てん 打ち立てん

4. 栄光の賜物

W. REV. MOON
M. ANONYMOUS (K)

1. はるかに輝く栄えの光
強く生きよ自由の生命^{いのち}
この地の果てまで目覚め立て
生命の光^{いのち}永遠^{とわ}にあり 生命の光永遠にあれ
2. 呼びて求むる栄えの主よ
大いなる姿は天地^{あまち いだ}を抱き
“蘇きた生命^{いのち}はいずこに” と
尋ぬる君をいかに迎えん
尋ぬる君をいかに迎えん
3. 死から蘇きたこのわれは
蘇かしたお方に抱かれて
永遠^{とわ}の愛と恵みの声
いついつまでも喜びを
いついつまでも讃^ほめまつれ
4. 栄えに入るのも主の恵み
愛に満つるも主の恵み
崇^{あが}め崇^{まつ}めて奉れども
足らぬこの身をいかにせん
足らぬこの身をいかにせん

5. 勝利者の新歌

W. REV. MOON
M. ANONYMOUS

1. ホザナの栄光を求めしわれら
迎えよや新たなる栄えの^{いのち}生命を
約されし^{しむ}み旨をわれらは成して
※ (くりかえし)

自由と幸の歌 喜び歌い
自由と幸の歌 喜び歌おう

2. 暗き^{やみよ}闇夜を切り開き
輝く朝は来た新しき夜明けが
鳴らせ高らかに平和の鐘を

※

3. 新しき^{いのち}生命受けしわれら
誇りていざ歌え新しき歌を
選びたもう^{わざ}み業を^{たた}讃えよ高く

※

4. ^{つく}創りし主のみ^{しむたす}旨尋ねしわれら
^{あめ}天なる美と愛 輝かさん
和動の花園をわれらは求め

※



6. 悩める心に

W. REV. MOON
M. ANONYMOUS

1. 暗き力がわれを襲い
思い乱るる弱きわれ
おのが思いのみわずらいて
罪はわが身に生まれ出づる
罪はわが身に生まれ出づる
2. 訪ねしわが主のみ声聞けず
無知なるわれはかたくなに
おのが喜びに歩みしに
主は泣き十字架に帰りたいもう
主は泣き十字架に帰りたいもう
3. 長き闇^{やみよ}世を救わんため
峻^{けわ}しき荒れ野を歩みつつ
死すべきわれらを訪ねたもう
わが主の恵みにいかにこたえん
わが主の恵みにいかにこたえん
4. 栄^{さか}えの君にまみえんと
罪のこの世と闘いて
苦しみあえぎつ歩みきた

わが身に主は今語りたもう

わが身に主は今語りたもう

5. 栄^{さか}えのこの日を讃^ほめ歌わん

永生^{こくらくよも}極楽四方に満ち

罪とが深きこの身にも

新たなる生命^{いのち}みなぎれり

新たなる生命みなぎれり

6. おおわが新婦よ来たりしか

岩山荒れ野にわれを訪ね

苦しみ耐えきし汝^なが姿

この日を願いて耐えきしか

この日を願いて耐えきしか

7. いざいざ来たりて共に讃えん

汝^ながため備えしこの日まで

秘めきし宝たえなる愛

汝がため備えし真^{まこと}の愛

汝がため備えし真の愛

7. 統一勇士の歌

W. REV. MOON
M. ANONYMOUS (K)

1. 心情の因縁ゆかりで世界は生き
一つに結もばる本然えんの縁
永遠とわに授受するわれらの故郷ふるさと
幸いしずえの礎のもと千代に生きん
われらは誇れる統一の勇士
強く愛して勇み進まん
2. 永遠とわの心で光彩ひかりを放つ
創ようずられし万物の栄光あかりの灯台
生命いのちがあふれる本然もとの人格すがた
理想のぞみの価値で花咲かせん
われらは誇れる統一の勇士
強くみ旨じゆ立て勇み進まん
3. 秩序もといの基まことに眞実を立て
永遠とわを約やくする変わらぬ価値
高く立てらる真理のしるべ
揚々ようようたる善よき日をほめ讃えん
われらは誇れる統一の勇士
強く叫びて勇み進まん

4. ^{あずま}東方に明ける輝く文化
すべての民は^{はらから}同胞と
願いし^よ善き父母^{とわ}永遠に^{はべ}待り
誓いて成さん一つの世界
われらは誇れる統一の勇士
強く理想に勇み進まん

8. 東の勇士

W. KWANG YOL YOO
M. ANONYMOUS

1. 勝ちどきいざ立て^{あすま}東の勇士
千歳^{ちとせ}の歴史を切り拓き
神のみ^{むね}旨が成さるとき
もろともにそれ立て 成和^{わこうど}の若人
2. 夢ならぬ夢が成る新世紀あけ
朝鐘打ち打ち日が昇る
三十億すべてが^{のぞみ}理想に生き
もろともに行こうぞ 永遠^{とわ}の若人^{わこうど}
3. 勇みて碎けよサタンの力
父とみ子らの命令に
^{あめつち}天地すべてを捧げまつり
もろともに勝ち抜け 平和^{わこうど}の若人

9. 朝日に輝く

W. REV. MOON
M. YUN YONG YANG

1. 朝日に輝くわが山河

友よもろともに勇み立ち
いのち
生命のみ声の満ちあふる
自由の天地に仕えまつれ

2. 果てなき大地よ豊けき地

身もたま霊もすべて捧げまつり
あめつち
天地よろずを神にき帰し
勝利のみ旗をかざし進め

3. み父に召されし若き日を

力の限りに戦わん
あめ
天なる兵士よふる奮い立て
とわ
永遠の理想を打ち立てよ

10. 夢路で天の W.&M. YUN YONG YANG

1. ^{ゆめじ}夢路で天の宝を見つけました
^{ちとせ}千歳望みし 神の賜物よ
^{かいな}腕^{いだ}に抱き深く思わるる
^{はか}計り知られぬ ああその愛よ
2. ^{ゆめじ}夢路で白き光を見つけました
新たな^{あした}朝 父母様と共に
聖徒ら集いみ名を拝すれば
^{はか}計り知られぬ ああその愛よ
3. ^{ゆめじ}夢路に聖徒ら皆^{いで}起き出て
手に手に光 かざし進み行く
もろびと^{つど}集い戦列は続く
^{はか}計り知られぬ ああその愛よ
4. ^{ゆめじ}夢路で新たな道を見つけました
救われし民は 白き旗かざし
天使天軍こぞり 声を合わせて
み神^{たと}を讃う ハレルヤアーメン

11. 成和青年歌

W. HYONG CHIN HWANG
M. ANONYMOUS

1. み父の召し受く成和の若人^{わこうど}
輝くアジアにのろしを上げ
長き罪の夜々を打ち払い
地にぞあまねく朝を呼べ
※ (くりかえし)
上げよ成和ののろしを高く
行こうよ海越え 地の果てまで

2. 罪のすべては焼き払い
恵みにあふれし新天地に
^{まこと}真の決意 みなぎるわれらに
勝利の歌声聞こえる

※

3. 熱き血潮^{ちしお}は希望にあふれ
靴音高く 戦列は行く
^{ごしき}五色の光 行く手に輝き
そろそろ歩調は天地に響く

※

12. 我は行く

W. HWAN CHAI HWANG
M. ANONYMOUS

1. われは行く われは行く

主が歩まれた涙の淋しい道

重なり重なる十字架の道

み^{しね}旨のみを われは行く今行く

み旨のみを われは行く今行く

2. われ^{したこ}従う われ従う

主が選ばれたいばら道

光のため耐え忍び 勝利の冠得る道

身も心も われ従う従う

身も心も われ従う従う

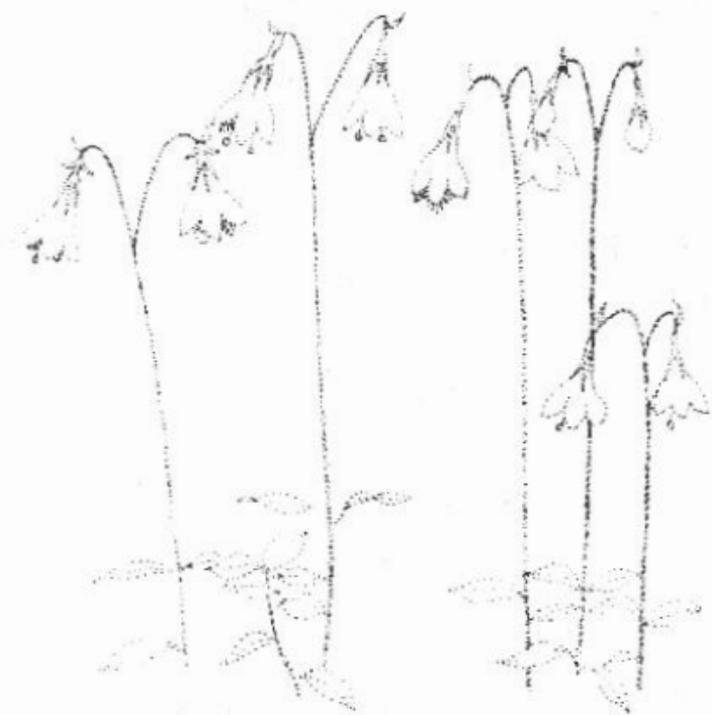
3. われ^{つか}仕えん われ仕えん

主が来られきたつらい道

千歳^{ちとせ}願い胸に抱き 栄え^{さか}の園求め

サタン押しのけ われ仕えん仕えん

サタン押しのけ われ仕えん仕えん



13. 苦難と生命 (A) W. HYO WON EU
M. ANONYMOUS

1. 義人聖人聖徒ら成せずに残す道
結ばる復^{わご}帰業 主は立ち呼びたもう
すべての天使天軍 成されぬみ^{こころ}意
秘められしみ^{むね}旨 主はたずねたもう
2. ^{よびと}世人の姿で歩まれるわが主
行く道苦しも いかでか拒むや
^{とわ}永遠のエデンにましますわが主の
行かれし誉れ われは喜ぶ
3. 主が行くその道 死の場もわれは行く
恐れず雄々しく 立ちてわれ行く
行かんとするわれ ^{たれ}誰が^{さまた}妨ぐ
行くべきこの身を 誰が妨ぐ
4. 縄にて打たれる身 引かれ行く姿
カメラフラッシュも裁きの日を告ぐ
ののしるユダ^{びと}人 あざける祭司ら
避け得ぬこの道 われまた行くのか

13. 苦難と生命 (B)

1. 天使長のラッパの音 聞く者は誰ぞや
東西光る稲妻 その影もいずこへ
日と月暗く 星は落ちゆく
墓場で生き人 いずこに集まる
2. 生かされた天地に エルサレム新し
千歳の摂理 まわり見ればエデン
涙ぬぐい 悲しみ過ぎ去り
父の栄光 来たる主いずこそ
3. 十字架で行かれた主は 十字架で来られる
死の道も地獄も 共に歩み喜ぶ
レバノンの栄え 永遠に輝く
日出ずる東 エホバのみ業
4. 起きて光を見よ 暗闇は晴れゆく
一より万となり 築いた都に
世界の子女が 抱かれ歌う
白十字高く ホザナと讃えよ

14. 苦難のイエス

W. & M.

YUN YONG YANG

1. ゲッセマネ^{その}園のイエスを見よや
ゲッセマネ園のイエスを見よや
したたり落つる血の汗見よや
十二弟子眠りペテロも眠る
イスカリユダ裏切り イエスを渡す
痛まし痛まし罪ないイエス
うかがい見てた弟子たち皆逃げ
イエスはひとり兵士に引かれて
布着^{ぬの}て逃げ行くペテロの姿
無能で卑怯なペテロのさまよ
いざりを歩かせ めしいを開けた
荒^{あらうみ}海渡った奇跡はいずこそ
2. 十字架を負い行くイエスを見よや
十字架を負い行くイエスを見よや
精魂^{せいこん}尽き果てよろめき倒れ
牛追うごとくに鞭^{むち}打たれ行く
十二弟子いずこそイエスはひとり
代わりに負う弟子ひとりもあらぬや
この世に味方す人あるけれど
神のひとり子代わるは誰^{たれ}ぞ

悲しい悲し父の涙
無念だ無念だ父の思い
この世の友でも道理を知るに
父の苦しみ分かつは誰ぞ

3. 十字架にかかるイエスを見よや
十字架にかかるイエスを見よや
いかなる罪かひとり子イエス
羊のごとく汝がため死ぬや
父も耐え得ず 顔背^{そむ}ければ
わが父なぜに見捨てたもうや
^{みとせ}三年の十二弟子イエスに似られず
^{ひな}空しい空しい神の摂理
後悔立たずすでに遅し
再臨基台にいけにえ求め
二千年聖徒の血は流された
三十億救いにいけにえならん

15. 我は供物

W. & M. HYO MIN EU

1. われ今知る すべてを知る
供^{そな}えなせど空^{ひな}し
父のみ意^{こころ}をわれ今知る
いけにえなく泣かれる父を
語らで泣かれる悲しみ意
2. われ今知る すべてを知る
死にしわれを蘇^いかす
父のみ恵みをわれ今知る
蘇かされしわれにまた泣きたもう
わが身に代われと父は泣きたもう
3. われ今行く 雄々しく行く
われ行く道を変え
父に従いてわれ今行く
備^{そな}う祭壇にわが身を捧げ
信仰と従順でわれ今行かん



16. 復帰の心情

W. YONG HI REE
M. HUNG RYOL REE

1. 神は創造業果^{わざ}たそうと
復帰で尋ねし一筋の
心のつらさを誰^{たれ}ぞ知る
長い歴史は神の声
地上に人は多けれど
神のみ^{こころ}意誰ぞ知る
2. 栄光^は誉むべき創造主は
人の墮落を悲しみて
われらの美と愛求めだし
永遠^{とわ}の栄光誉めまつれ
神の思いはかるべき
地に落つ涙は海と成す
3. 神に秘めらる奥義は
天使のラッパで明すれど
ノア^{とき}時のごとく皆笑い
暗い幕場で喜ぶや
天地に何が恐ろしも
裁きのその日をいかに耐えん

4. 信ぜよ早く信ずれば

父のみ胸にあふる愛

^{もと}本然の故郷に帰れば

これより幸がほかにありや

^{ちとせうしの}千年失う子女を得た

父の喜び^{とわ}永遠にあり

17. 誓い

W. & M. YUN YONG YANG

1. 土より劣る身 汚れ果てしわれを
 捨てたまわず許し 死より蘇^いかしたもう
 いたわり育て 血の汗流して
 説きたもうみ^{ことば}言 今ぞ心に^{たてまつ}奉る

2. 知恵なく弱き身 み^{あと}跡慕いて行き
 つまずき倒るれば 顧^{かえり}み呼びたもう
 峻^{けわ}しきいばらの 血に染みし主の道
 われいま誓い行く 父の居ますみ国に

3. 眠りより覚めて 真^{まこと}のみ旨^{むね}知り
 心ただ一つに み旨のために生き
 み旨のため死なん 勝利の日来るまで
 み旨受け戦う 共に戦い行かん

18. 一つに集え

W. & M. ANONYMOUS

1. 海と陸とのサタンを追い払い

自由と幸のみ国を築き上げん

統一君とわれ この地の民よ

神の願いを永遠とわに成し遂げよ

※ (くりかえし)

集つどえ集え 一つに集え

自由と幸のみ国をつくれ

2. エベレス山上に十字架をひるがえし

大洋海原うなばらに勝利の血を清め

統一君とわれ この地の民よ

千歳ちとせの恨みうらを永遠とわに解き砕こう

※

3. 新天新地に平和の城築き

真まことの父とハレルヤ歌おうよ

統一君とわれ この地の民よ

隠れた栄えとわを永遠とわに誉ほめまつれ

※

19. われら統一勇士

W. & M.
ANONYMOUS

1. われら集うは父の聖なる地
過ぎしあやまちは洗い清めて
新たなる決意 み前に誓い
み神の召したる神の子となりて
実れる^{たのも}田面をみな刈り入れよう
ああ われらは統一勇士
2. われら慕^{した}うは父のみ国
過ぎし日の不義はみな焼き払い
望みと信仰 愛に満ちて
み神の誇れる神の子となりて
垂穂^{たりほ}をみ倉にみな刈り入れよう
ああ われらは統一勇士
3. われら立^{みくら}ちしは父の玉座
過ぎし^{としつき}歳月は洗い流して
新しき心一つに結び
み神の愛^う受く神の子となりて
父のみかわりに戦い行かん
ああ われらは統一勇士

20. 成し遂げよう

W. & M. ANONYMOUS

1. 成し遂げよう 神の大いなるみ業^{わざ}を
告げ知らそう 神の真^{まこと}の真理を
眠りに酔える民に 鐘打ちあまねく知らせん
いざや最後の時は来た 万軍^{ばんぐん}の主^{ぬし}に続け
イエスに背^{そむ}きし罪^{つみ}の 恨^{うら}みぞ今解き放て
2. 成し遂げよう 神の大いなるみ業^{わざ}を
告げ知らそう 神の真^{まこと}の生命^{いのち}を
闇に迷いし民に 生命の光をかざせ
いざや最後の時は来た 万軍^{ばんぐん}の主^{ぬし}に続け
カルバリの主^{ぬし}に代わり十字架^{じゆうじや}にかかるは今ぞ
3. 成し遂げよう 神の大いなるみ業^{わざ}を
告げ知らそう 神の愛^{あい}なるみ旨^{しめ}を
恐れ惑いし民に 希望のみ旗^{はたけ}を示せ
いざや最後の時は来た 万軍^{ばんぐん}の主^{ぬし}に続け
父より受けしみ旨 果たせや勝利は近し

21. 光は東より

W. & M. ANONYMOUS

1. 光は^{あずま}東より輝きて
光の子たちが住める園
山^{あお}蒼く清き選ばれし国
雄々しき民は定められし民
力のもとなる神の愛を受け
今ぞわれら眉を上げ 歓喜の道をいざ行かん
2. 正義は^{あずま}東より燃え上がり
^{まこと}真の子たちが住める園
真理を求む地は神を愛する地
忠誠の民は^{ほま}誉れ高き民
力のもとなる神の愛を受け
今ぞわれら胸を張り
^{あめ}天なるみ国へいざ行かん
3. 愛は^{あずま}東より芽生えきて
清らなる子たちが住める^{その}園
あだを受ける地はみ^{しね}旨成す国
耐^{しの}え忍ぶ民は主にまみえる民
力のもとなる神の愛を受け
今ぞわれら肩を組み ^{いのち}生命の道をいざ行かん

4. 勝利は^{あずま}東より成されきて
誉れの子たちが住める園
日の本の国は勝利の国
戦いし民は栄光の民
力のもとなる神の愛を受け
今ぞわれら旗かざし 新しき道をいざ行かん

5. 栄えは^{さか}東より開けきて
十字架を負う者の住める^{その}園
朝日が昇るこの主のみ国
桜咲く地は^{とわ}永遠の国
力のもとなる神の愛を受け
今ぞわれらとく集い^{つど} 不滅の道をいざ行かん

22. 新エデンの歌 W. & M. ANONYMOUS

1. 父の居ますは^{いのち}生命あふるる^{その}園
暗き世にもわれらは^{まこと}真を求め
み父の^{かたち}人格に似た真の子女となりて
父の愛受く神の子となりて
歌いつつ歩まん なつかしエデン
2. 父の居ますは^{よみがえ}蘇りの^{その}園
あこがれし新生 われらは成して
み父の^{かたち}人格に似た^{まこと}真の子女となりて
父の喜ぶ神の子となりて
踊りつつ歩まん ^{のぞみ}理想のエデン
3. 父の居ますは^と永遠に^{その}続く園
備えられた^{きよくざ}玉座にわれらは着きて
み父の^{かたち}人格に似た真の子女となりて
父の誉め受く 神の子となりて
手をつなぎ生きよう 新しエデン

23. すべて捧げて W. & M. ANONYMOUS

1. われらは主の召し受く^{まこと}真の勇士なれば
神の証^{あかし}立てるその日その時まで
戦い抜こうよ 一つとなりて
すべての生命^{いのち}捧げてみ^{むね}旨成る時まで
※ (くりかえし)
ただ主のために 戦い抜こうよ
すべて忘れ すべて捨てて

2. われらは主の選びし光の勇士なれば
神に榮^{さか}え^き帰するその日その時まで
切り開け闇を 一つとなりて
すべての情熱捧げてみ^{むね}旨成る時まで

※

3. われらは主に続くいのちの勇士なれば
神の愛の業^{わざ}成るその日その時まで
勝ちて進め 一つとなりて
この身すべて捧げてみ^{むね}旨成す聖徒とならん

※

24. 主は来たる

W. & M. ANONYMOUS

1. 主は来たる 主は来たる

日出づる^い東方^{あづま}の 光るこの地に

民を治め み^{むね}旨^{むね}広めて

父の右にて わが主来たる

※ (くりかえし)

この地すべて主^{あお}仰ぎ 踊り歌うよ

ハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ アーメン

2. 主は来たる 主は来たる

白いみ国の 花のこの地に

罪を押し^のけ み国と成し

神のみ^{むね}旨^{むね}で 王の王来たる

※

3. 主は来たる 主は来たる

山も水も 宝多い地に

幸となし 誉^{ほま}れ^{たた}讃え

父の代わりに 救世主来たる

※

25. 成和勇士の歌

W. SANG CHUL KIM
M. ANONYMOUS

1. 千里^{せんり}またがる父の聖なる地
一億^{やまと}大和が神の召し受け
天高くそびゆる富士の^{いただき}頂に
全世界 宇宙に み国は続く
※ (くりかえし)
進め勇士 力強く
天地を一つとし^{とわ}永遠に生きよう

2. 光る^{あずま}東方の日出づるこの里
山紫^{さんし}水明^{すいめい}うるわしき^{その}園
父の子女より み国の勇士となり
鎖^{とご}されしみ^{むね}旨 今より解かる

※

3. われら集いて祭壇そなえ
父のみ^{むね}旨の愛の国つくろう
悲しい涙 苦しみなくし
新天新地に手をつなぎ生きよう

※

26. 輝く御国

W. WOL SONG REE
M. ANONYMOUS (K)

1. 日が昇る^{あずま}東方の光るみ国

まきば^{わらべ} 畑^{はた}の農夫も

いざ立ていざ立て雄々しく立て

待たれるみ訪れ宣べ伝えよ

※ (くりかえし)

光れ^{とわ}永遠に神のみ国

千代に八千代に^{さか}栄えあれ

2. 刈り入れの時来た^{いそ}勤しめよ

実れる^{たのも}田面はみ倉に入れ

天使天軍すべて共に集い

祝いのむしろにわれも^{はべ}侍らん

※

3. ^{ちとせ}千歳の願いも今や成りて

^{まこと}真の父と喜び生きん

すべての民の待ちしこの日

世々の忠臣義人の待ちしこの日

※

27. 栄光の日 W.&M. YUN YONG YANG

1. 静かな闇にたえなる声で

眠り覚ますみ^{ことば}言

※ (くりかえし)

栄光 栄光 栄光の主

迎えん 迎えん 迎えん 心尽くして

われらは一つに美と愛交わし合おう

約された祝いの日いよよ近し

2. ^{あかつき} 暁 晴れてわれは目覚め

強く宣べ伝えん^よ善き言葉

※

3. 新し朝明けた聖なる子女よ

足並みそろえとく集え

※

28. わが身の十字架 W. KWANG YOL YOO
M. DOO WAN KAM

1. わが身の十字架を誰に^{たれ}担^{にな}わさん

主はこの道先駆けしを

賜^{たまわ}りしみ^{しね}旨果たせずして

千歳の歴史は血と涙

※ (くりかえし)

十字架背負いてわれは行かん

ゴルゴダかなたに勝利が歌う

2. 身に過ぎし重荷 負わすべきや

強く歩まばわれは着かん

み^{しね}旨に捧げしこの身なれば

などてためろうや^{いのち}生命の道

※

3. み^{しね}旨成すがため 耐え来し父

子もまた共に戦わんや

成さずば苦勞も無に等しく

戦い勝てば^{とわ}永遠の幸を

※

29. 宴のとき

W. & M. YUN YONG YANG

1. 新エデンの園そのまに蒔かれし生命いのちよ
 芽生え 今育ち咲き誇り装いぬ
 父なる神よ 聖きよきこの日を
 祝しませ愛の絆を ハレルヤ榮はえある日
2. 緑の野辺のべに美うるわしき花よ
 生命いのちを注がれ春の野舞い踊り
 み使い諸人もろびと 誉ほめよこの日を
 祝しませ愛の交わりを ハレルヤ榮はえある日
3. み前に立ちて誓いし汝なが身
 変わらぬ愛もて仕はべえ侍らなん
 わが主よわが神 この妹いも背とせを
 祝しませ愛のむしろを ハレルヤ榮はえある日
4. み恵みあふるる永生えいせいの朝
 天地あめつちよ困まことめ真ちちははの父母を
 歌えやこぞりて主の愛の香を
 永久とこしえの春は来たれり ハレルヤ榮はえある日

30. とり戻した栄光

W. & M.
YUN YONG YANG

1. わが愛の父よ 歴史をひもとき
積もる^{うら}恨みをば 今日解き放ちたもう
アダムの罪も ハムの^{あやま}過ちも
主イエスに^{そし}背きしもすべて洗い清めぬ
2. わが愛の父よ われらを見捨てず
^{あがな}贖いの道を^{とわ}永遠に開きたもう
奪われし家庭 今ぞ再び
父母様によりて 成りしその嬉しさよ
3. わが愛の父よ 尽きぬみ^{ことば}言と
愛のみ手もて 今ぞみ^{わざ}業成しぬ
病みしイスラエル^{そし}背きしみ民
新たなる聖徒ら 永遠に^{あがな}贖いたもう

31. 召されし身

W. HO OON REE
M. JAI HOON PAK

1. 召されて^{いで}出立つこの身は行くぞ
つらくも楽しも君のみ慕いて
^{たれ}誰が妨ぐ 死が妨ぐや
誰が妨ぐ 死も妨げられぬ
2. 地のすみ荒れ野も恵みと共に
ソドムの町も愛もて訪ねて
この身のすべてを 惜しまず捧ぐる
この身のすべてを 惜しまず捧ぐる
3. み栄え^{さか}誉れ^{ほま}は君のみ受けて
^{いや}卑しみ十字架はわが身が負い行く
名もなく捨てられ 喜び従う
名もなく捨てられ 喜び従う

32. 帰れわが子よ

W. YUNG TAIK JUN
M. JAI HOON PAK

1. 帰れわが子よ とく帰れよや
汝^なが罪深くいかに重くも
主はすべて許し 受け入れたもう
主のみ心は限りなく広し
2. 帰れわが子よ とく帰れよや
わが主は日ごと 訪ね求めて
夜ごと戸を開き 心痛めつ
去りし愛^{いと}し子を 待ち望みたもう
3. 帰れわが子よ とく帰れよや
鞭^{むち}打たれてもわが主のみ手に
打ちし後いたわり 慰めたもう
主の^{ふところ}懐にとく帰り来たれ

33. わが仔羊

W. CHA BONG PAK
M. JAI HOON PAK

1. わが羊よ 寂しい野原に
悩み倒るる弱き日にも
汝が傷癒^{いや}す者もなく
愛と真実の言葉なしや
2. わが羊よ 汝^なが罪のために
十字架背負いて先駆け行く
真^{まこと}の牧者に従え
いさおなく弱き汝が身なれば
3. わが羊よ 飢え渴くときに
身も魂も彼を受けよ
天^{あめ}なる力 身にあふれ
尽きせぬ喜び永遠^{とわ}にあり
4. わが羊よ 心踊らせて
力限りに主を讃^{たた}えよ
世界の諸^{もろびと}人愛せよ
おお わが仔羊 わが羊よ

34. 主はわがすべて

W. & M.
ANONYMOUS

1. 主はわが喜び わがすべて
主は苦難の日の癒^{いや}し主^{ぬし}
主は牧者 わが岩
主はわが喜び わがすべて
2. 主はわが生命^{いのち}ぞ わがすべて
主は試練の日の強き盾^{たて}
主は望み わが愛
主はわが喜び わがすべて
3. 主はわが理想ぞ わがすべて
主は永世^{とこよ}に坐^ます生ける神
主は生命 わが栄え
主はわが喜び わがすべて

35. 心には願えど

W. JAI HUN YU
M. SHIN YONG AU

1. ^あ悪しき思い暗く迫り
押さえがたき^{つみびと}罪人われは
※ (くり返し)

されどわれなどて悲しみ嘆かん
すでに世に勝ちしわが主いませば

2. 追ひ払えどまといつく^{とが}咎
主よこの身に安きをたまえ

※

3. 心は燃えど弱きわが身
^{おぐら}小暗き道に^{いくたび}幾度さまよう

※

4. われ^{つみびと}罪人の^{かしら}頭なれば
ただ主にすがりみ救い求めん

※

36. 主よ来たりませ

W. JAI BONG DAK
M. JAI HOON PAK

1. 主よ来たれ 来たりませ

わが心に来たりませ

汚れし罪深きわが心に主よ来たれ

火なる主よとく来たり 罪を清めたまえ

おおわが主 願わくは

来たりませ わが胸に

2. 主よ来たれ 来たりませ

わが^{さいだん}祭壇に来たりませ

暗き闇に隠れたる祭壇に主よ来たれ

光なる主よ来たり われらを生かしたまえ

おおわが主 願わくは

来たりませ わが民に

3. 主よ来たれ 来たりませ

この世にも来たりませ

罪深く滅びゆくこの世にも主よ来たれ

力なる主よ来たり 悪を^{しず}鎮めたまえ

おおわが主 願わくは

来たりませ おおわが主

37. 捜し出された羊 W.& M. ANONYMOUS

1. 羊たちよわが仔羊

見よや かしこの真珠門を

^{こがね}黄金まといし花嫁のごと

まばゆく光るみ門^{かど}こそ われらがための^{たまもの}賜物ぞ

2. ^{たど}辿る山路^{けわ}峻しくとも

喜びに燃え勇み立たん

夢に望みし^{あま}天つふるさと

来たれ栄光ここにあり 来たれ栄光ここにあり

3. み使いたち^{かど}門を守り

集い来たるは^{たれ}誰が群れぞ

許しの門に入るを望まば

み父の^{いんしょう}印証示せよや み父の印証示せよや

4. 開かれたり^{あめ}天なる^{かど}門

^{とこしえ}永遠の門開きたり

来たれ来たれ^{もろびと}諸人来たれ

慕わしわが主に会いまつらん

慕わしわが主に会いまつらん

38. 生命の泉の旁 W. & M. ANONYMOUS

1. わがなつかしの故郷^{ふるさと}カナン
下ろせ^な汝が重き荷を
罪の世^い出でし心やすく
いざ主の待ちし国へ
※ (くりかえし)
われは生く永遠^{とわ}に生く かの地泉に行く
われは生く永遠^{とわ}に生く 泉の^{ほとり}旁に

2. 火と雲 柱で導きたもう
行く道備わりたり
はやヨルダン川を渡りなば
目指すみ国ぞ近し

※

3. 渴きし生命^{いのち}に救いのマナ
降らせし愛の奇跡
わが内なる力湧^わき立ちて
み名^なを讃えて進まん

※

39. 園の歌

W. & M. SOUTHERN FOLK

1. 主はおのが園に来たる その香り満ちて
百合が咲き乱る 百合がほほえむ
恵みのにわか雨 主が降らせたまえば
死人また蘇く 死人また蘇く
2. 渴きあるこの地に清き泉流れ
良き地となる 良き地となる
君は^{あだ}仇を討ち この世花園に
み国となる み国となる
3. 主を信ずる者よ このみ^{ことば}言受け
君に続け 君に続け
今の試練苦勞も ^{あと}後の^{さか}栄えなり
エデンに帰れ エデンに帰れ

★ハンゲルの「園の歌」は61頁に掲載してあります。

40. 主の道

W. & M.
WHITE SPIRITUAL

1. 孤独なみ姿で 先駆け主は行かれた
死の陰の谷間を ただ一人行かれた
2. 重荷を代わりて 負う者は誰もなく
血と汗と涙を 流しつつ行かれた
3. 孤独な試練の日 私も一人行こう
誰も私のため 身代わりになれない
4. わが主の苦しみを 忍べば力は湧く
神も行かれた道 私たちも行こう

41. エジプトにすめる W. & M. NEGRO SPIRITUAL

1. エジプトに住めるわが民の
苦しき叫ぶを聞かざるか
行け モーセ パロに告げよ
わが民去らせよと
2. エジプトを出でてわが民を
約束の地へとひきいたれ
行け モーセ パロに告げよ
わが民去らせよと
3. 心を固くし 聞かざれば
災い來たと語るべし
行け モーセ パロに告げよ
わが民去らせよと
4. 奴隷にせられし同胞の
苦しき呻くを聞かざるか
いざ 行け 救い出だせ
とくとく 同胞を

42. 神ともに居まして W. J.E.RANKIN
M. W.C.TOMER

1. 神共に居まして 行く道を守り
天^{あめ}のみ糧^{かて}もて 力を与えませ
また会う日まで また会う日まで
神の守り^な汝が身を離れざれ
2. 荒れ野を行くときも 嵐吹くときも
行く手を示して 絶えず導きませ
また会う日まで また会う日まで
神の守り^な汝が身を離れざれ
3. み門^{かど}に入る日まで 慈しみ広き
み翼の陰に 絶えず^{はくく}育みませ
また会う日まで また会う日まで
神の守り^な汝が身を離れざれ

동산의 노래

ト山(ン)ネ ノレ

1. 주님 자기 동산에 오셨네 그 좋은 향기 진동해

チュニム チャギ ト山ネ オシヨンネ ク チョウン ヒヤンギ チンドンヘ

백합화 번성해 백합화 번성해

ベッカブア ホンソンヘ ベッカブア ホンソンヘ

거룩한 은혜 소낙비 주님이 내려 주시니

コルカン ウネ ソナッピ チュニミ ネリヨ チュシニ

죽은 자 다시 사네 죽은 자 다시 사네

チュグン チャ タシ 사네 チュグン チャ タ시 사네

2. 가물어서 메마른 이땅에 신선한 샘물 대주사

カムロソ メマルン イタンエ シンゾンナン 센ム르 테츄사

옥토가 되었네 옥토가 되었네

オットガ テオンネ オットガ 테オン네

주님이 원수 이기사 이 세상 꽃밭 화하고

チュニミ ウォンス 이기사 이 세산 코ప్ప앗 타아하코

한 나라 이루었네 한 나라 이루었네

ハン ナラ イルオンネハン 나라 일론네

3. 주를 믿는 형제자매여 이 복된 말씀 들으라

チュルル ミンスンヒョンヂェ차메 요 이 보텐 마르스름 토크라

임 뒤를 따르세 임 뒤를 따르세

イムトウイルルタルセ イムトウイルルタルセ

여기서 시련 고통이 저지서 복이 되리라

ヨギソシリョン코톤이 초기소 보기 테리라

본향에 이르르면 본향에 이르르면

ボンヒヤンエ 일르르미ョン본히얀에 일르르미ョン

43. 勝利の歌

W. YUKO KAMIYAMA
M. SPIRITUAL (J)

1. ホザナの栄え わが主来ませり
ホザナと歌え ホザナと歌え
2. 天は踊る み使い踊る
よろず
万のものが 踊るよ踊る
3. エルサレム来た 地上に来た
主の日が来た 主の日が来たよ
4. 燃えろ燃えろ 信仰の火よ
燃えろ燃やせ 信仰の火を
5. 主を待ち望む エジプトの地よ
とわ
永遠の花咲く 園の日近し
6. 進め進め つわもの進め
主のつわものは 進み行くよ

7. ^{なた}讃えよ讃え 愛と^{まこと}眞の
万軍の主を ^{とわ}永遠に讃えよ

8. ホザナの栄え わが主来ませり
ホザナと歌え ホザナと歌え

ホザナ ホザナ ホザナ

44. まことの宴

W. ANONYMOUS
M. SPIRITUAL (J)

1. 天地に生きて 素晴らしい朝よ
世界に結ぶ愛 まことの^{うたげ}宴
2. まさぐや神のみ 世界を支える
日本の都に真実は立つ
3. み^{さか}栄え 神とも あめつち^{さんみ}三位も
世界は慕うは われらの慰め
4. ^{いのち}生命の^{かむり}冠を 今こそ捧げて
天地に響かせ 神のみ^{ことわ}真理る

45. 主はわが牧者 W. BONG CHAN CHAI
M. SOO CHOL CHANG

1. 主はわが牧者わが飼い主 わが^{いのち}生命の君なれ
緑の野原に谷川に
われを導きませり
※ (くりかえし)
主こそわが牧者 われは主の羊
日ごと夜ごとわが生命をば
^{はぐく}育み生かしませり
2. 小鳥の歌う清き朝に 夕日照らす日暮れに
愛するわが牧者の声が
われを常に呼びたもう
※
3. ^あ悪しき者ややに迫るとも ^う憂き雨風襲うも
強きみ手にかき抱かれし
われに恐れはあらし
※

46. 怒濤となり進め W. JAI HOON PAK
M. TONG HOON REE

1. 怒濤どとうとなり進め われらは若者
瞳に輝くわれらの希望
主のみことば言手にかざし進み行けよ
われらがいのち生命ぞ ただ主にあれや
2. 空のごと高かれ われらは若者
海のごと深かれ われらの信仰
われらは主の子女 召されたる兄弟
われらがいのち生命ぞ ただ主にあれや
3. 火のごと燃え上がれ われらは若者
滝のごと強かれ われらの血潮
若きいのち生命かけ あか証せ福音を
われらがいのち生命ぞ ただ主にあれや
4. 広がれ大地のごと われらの心情
山のごとけだか気高き われらの理想
勝利の旗立て 歌いつつ歩めよ
われらがいのち生命ぞ ただ主にあれや

47. 信じる人は

W. N. TSUJIMURA
M. CHA HUN PAK

1. 信じる人は真^{まこと}の兵士ぞ世界を駆けよ
すべての国を新たにつくり変えよいざ
万軍の主は今 われらの頭^{かしら}ぞ
歌いて進め み国はわが主のみ手にあり
2. 信じる人は生命^{いのち}の火花ぞ世界を照らす
憂^{うれ}いと悩みの夜は希望の朝とならん
万軍の主は今 われらの頭^{かしら}ぞ
歌いて進め み国はわが主のみ手にあり
3. 信じる人は歴史を神に帰する勇士ぞ
信仰の徒をば愛し行かん 終わりの日まで
万軍の主は今 われらの頭^{かしら}ぞ
歌いて進め み国はわが主のみ手にあり

48. 主よ汝がそばに

W. N. TSUJIMURA
M. ANONYMOUS

1. 暗き闇^{やみ}夜^よを迷いしわれを
呼ばわりたまいしみ声ぞ近し
主よ汝^ながそばに わが心をば
引き寄せたまえ 永遠^{とわ}に永遠に
2. 時は巡りぬ主を待つ者に
来たりたもう主のこの世にあるを
主よ汝^ながそばに わが心をば
引き寄せたまえ 永遠^{とわ}に永遠に
3. 日ごと夜ごとに心を捧げ
語^わらせたまえや主の愛の業^{わざ}
主よ汝^ながそばに わが心をば
引き寄せたまえ 永遠^{とわ}に永遠に

49. いざ立ち呼ばわれ W. N. TSUJIMURA
M. JAI HOO PAK

1. 目を上げて仰ぎ見よ

罪の巷ちまたより傷つきし者の声

主の名を呼びしを

闇やみにあえぐ人々 道に迷いし人

主にあるわれらが友 いざ立ち 呼ばわれ

2. 目を上げて仰ぎ見よ

暗き闇やみの夜に 主を待ちし者の声

しじまを渡れり

主は常に招きしが 応こたうる者いずこそ

主にあるわれらが友 いざ立ち 呼ばわれ

3. 目を上げて仰ぎ見よ

父母にますわが主を まことの掟おきてを説き

愛をば示しを

神に始まる生命いのち 継ぐ者はいずこにか

主にあるわれらが友 いざ立ち 呼ばわれ

50. わがふるさと

W. N. TSUJIMURA
M. ANONYMOUS

1. 懐^{なつ}かしきはわがふるさと
背^{とが}きし咎の地を離れ
わが名呼びし父のみ声
今ぞ今ぞ会いまつらん
2. 主のみ許ぞわがふるさと
汚^{けが}れし者の罪を負い
行きましたしや十字架の道
主よ 悔ゆる身ぞ受けませ
3. 神の幕屋わがふるさと
仇^{あだ}なす人の生命^{いのち}をば
許し続けし主のみ意^{こころ}
奉^{たてまつ}らばやその愛
4. 父母なる国わがふるさと
開きたまいし 真^{まこと}の道
今ぞ聖徒らこぞりて立て
声高らかに主ぞ歌わん

51. 峻しき試練の

W. N. TSUJIMURA
M. ANONYMOUS

1. 峻しき試練の水の中より
われを呼びし主よ わが^{いのち}生命の主
黄泉^{よみ}の力われを襲い倒る時にも
主よ生命の主よ 生かしたまえや
2. 罪ある者には許しの力
冷たき心に愛のみ^{ことば}言
与えたもう主はわれらの^{まこと}真の^{いのち}生命
われらが祈りは感謝に尽きぬ
3. 死すべき^{いのち}生命を生かしたまいし
主よ汝れに^な報^{むく}いん わが生命もて
われ伝えん日ごと夜ごと神のみ国を
来たりたもう主ぞあまねく伝えん

52. 貴き宝

W. SETSUKO SAKURAI
M. ANONYMOUS

1. 貴^{とわと}き宝捧げまつり
身も魂も仕えまつらん
たえなるかなくすしき日よ
待ちし父母様生まれたもう

2. 平和の鐘は四方^{よも}に響き
慰^{いこ}めの日よ憩^{いこ}いの日よ
喜びあふれ望み尽きず
こよなきみ名を讃えし日よ

3. 天より降^{くだ}る永世^{とこよ}の国
聖なる都エルサレムよ
勇みて仰げ栄えの君
待ちし日は来^きぬいざや誉^はめよ

53. 行こうカナンへ

W. N. TSUJIMURA
M. ANONYMOUS

1. かの地ヨルダンの岸边はるかに

立てし勝利のエデン

その岸边に咲きし^{いのち}生命の花

主の庭ぞいざ集え

※ (くりかえし)

行こうカナンへ待ちし主の国

時は満ちたりいざ整えよ 主に祝さる日近し

2. 主の^{めい}命受けすべてに従いて

残さん勝利の歴史

来たり歌えわれら勝ちし民よ

主の栄光を歌え

※

3. イスラエルよ歌え声高らに

主の栄光の^{がいか}凱歌を

その声天地にとどろきて

主の来たるを告げ知らせん

※

54. 暗き闇路に

W. N. TSUJIMURA
M. ANONYMOUS

1. 暗き^{やみじ}闇路に迷いしわれらは
祈りて求めきし主の光
※ (くりかえし)
暗き闇は明^そけ初めたり
来たりたもうぞわれらが主
いざこぞりてとく迎えや
光と生命^{いのち}のわが主を

2. わが主のみ業^{わざ}を信ずる者
幸いなるかな神の選び

※

3. 伝えや新たな主の福音を
叫べや高らに声を合わせ

※

55. わが主の家庭 W. & M. N. TSUJIMURA

1. 楽しきエデンよ わが主の家庭

無限にあふれる愛の泉は
渴きし心の砂地に流れ
生命いのちの若葉を萌え出もでいさせん
歌いて楽しめ一つになりて

2. 平和とりでの砦ちまたよ わが主の家庭

憂いと悩みの巷ちまたを出でし
わが身を招きてかき抱きたもう
温かき腕かいな 主の懐ふところよ
笑みする心にわが主を忍ぶ

3. 強いしずえき礎え わが主の家庭

岩の上に建てし神の幕屋ぞ
激しき雨風吹き荒るるとも
など恐るべきわれらは一つ
信ずる心の堅とりでき砦えは

4. 香りぞ気高し わが主の家庭

愛する心の満ち満ちあふれ
心もて祈り身をもて侍らん
あまねく放てや愛の香りを
天地あめつちすべてにとく放てよや

56. 待ちしこの日

W. T. AMANO
M. ANONYMOUS (J)

- ^{よろこ} 歡びはずみて待ちしこの日
^{あめつち} 天地すべての待ちしこの日
^{まこと} 真の父よ真の母よ 侍るわれら歡びを
一億民の心一つに 今ぞ歌え高らかに
- ^{いのち} 生命の泉はあふれ湧きて
渴きし者みな待ちしこの日
^{まこと} 真の父よ真の母よ 侍るわれら歡びを
^{むね} み旨に捧ぐ祈り一つに 今ぞ歌え高らかに
- 涙に濡れきし罪を拭い
^{としまわ} 永遠の愛の火燃ゆるこの日
^{まこと} 真の父よ真の母よ 侍るわれら歡びを
新しエデン園に響かせ 今ぞ歌え高らかに

57. 告げよ

W. T. AMANO
M. ANONYMOUS (J)

1. 夜明けを告げよ 起き出^いでて告げよ

すべての闇^{やみ}は消え去れりと

長き歴史の苦しみは去りて

輝く朝は明け来たと

天地に響けこの歌声よ

神のみ民の歌ぞ響け

2. 世界に告げよ 喜びを告げよ

見よわが父はここに在りと

愛に結ばれ故郷^{ふるさと}を知りて

われらは永遠^{とわ}に神に在りと

天地に響けこの歌声よ

神のみ民の歌ぞ響け

58. 丹心歌

W. MONG JOO JUNG
M. ANONYMOUS (K)

1. 幾度死すとも 砕け散るとも
たとえ身も魂も朽ち果つとも
慕わしきわが主に捧げまつる
熱きこの胸の忠誠まこと消えず

2. いくたびいのち幾度生命の われにあるとも
ことごとわが主に侍りて捧げん
揺るぎなき誓いのさらに燃ゆる
熱きこの胸の忠誠まこと消えず

59. 朝は小鳥の

W. T. AMANO
M. N. TSUJIMURA

1. 朝は小鳥の歌に覚め

夕べ輝く星の下

よろこ^{よろこ}び積みて行く^{なつき}生活

岩の上なるわが家庭

2. 嵐寄せ来る試みに

苦しきことの多きとも

み神と共にいづくにも

祈りて歩むわが家庭

3. 愛の箱舟 ^{かじ}舵とりて

心一つに父母と子は

目指す行く手を主のみ手に

ゆだねてうれしわが家庭

60. 恵みと奇跡の

W. T. AMANO
M. N. TSUJIMURA

1. 恵みと奇跡の主の道の
奥に潜める悲しみよ
よびと
世人は己の願いのみ
果たすを望みて主に付くを
2. 「み父の与うる ^{さかづき}盃を
飲むよりほかに道なきか」
血まじる汗にて祈られし
園に弟子らは眠りたり
3. 木の架^かの重みに込められし
ちち
御父の嘆きと人類^{ひと}の罪
ゴルゴダの悩み今も負う
とりなしの犠牲^{にえ}の主の姿
4. われまた知らざり主の道の
奥に潜める悲しみを
わが^{いさおし}勲は足らねども
報わせたまえや主の愛に

61. 栄光の主よ

W. TR. SHIGEO UEDA
M. ISURAEI

1. 栄光の主よ 恵みはあふれて
われらの歌声 静かに聞きませ

2. 創造の主よ み力はあふれて
われらの歌声 喜び聞きませ

62. 十字架より叫び聞こゆ

W. ANONYMOUS
M. FINLAND HYMN

1. 十字架より叫び聞こゆ

彼らを許したまえと
神のみ子苦しみ受け
世の罪を負いたもう
ゲッセマネの暗き夜の
その祈り君知るや
ゴルゴダの丘の上の
苦しみは誰が^たためぞ

2. 十字架より叫び聞こゆ

すべてのこと終わりぬと
神のみ子血を流して
世の罪を清めたもう
木の上にくぎ打たれし
その痛み君知るや
ゴルゴダの丘の上の
苦しみは誰が^たためぞ

63. 山に育む

W. KAZUAKI KUBO
M. M. NISHIDA

1. 山に^{はぐく}育む木々の緑
木陰に沈む夕日の中に
われらを包む愛の姿
さらば行かん神の愛の中に
2. 流れる波間の砂の響き
磯に砕けるしぶきの中に
われらに語る愛の姿
さらば行かん神の愛の中に
3. 闇にまたたく星の光
われらの心を清めるように
ただ^{しんしん}深々と降る姿
われは行かん神の愛の中に

64. 空とぶ小鳥は

W. T. AMANO
M. M. NISHIDA

1. 空とぶ小鳥は^ま時かず刈らぬに
み神は愛もて養いたもう
2. 名もなき野花にソロモンよりも
^{まさ}優れる装い^{たも}賜うみ神ぞ
3. まず神の国と義とを求めよ
すべてのものみな添えて与わる
4. 思い^{わずら}煩いを主の手にゆだね
今日を喜びて仕えまつらん

65. 朝の歌

W. T. AMANO
M. ANONYMOUS (J)

1. 大地はほほえみ青空は踊るよ
露^{つゆ}けき緑に明るき朝は来ぬ
わが胸に響くは命の歌 愛の歌
歌声織りゆく^{すが}清しき朝の歌
2. 輝く波間に希望満ちあふれて
「帆上げて^た発てよ」とささやく風吹きぬ
わが胸に響くは命の歌 愛の歌
ひとすじ織りゆく門出の朝の歌
3. 伸びよや若草^{ひたい} 額高くあげて
み父の栄光誇りもてあらわせ
わが胸に響くは命の歌 愛の歌
心情織りゆくわれらの朝の歌

66. イスラエルよ帰れ

W. N. TSUJIMURA

M. SHIGERU MUROFUSHI

1. 背信のイスラエルよ
わがもとに帰り来よ
裸の山に聞こえる
イスラエルの民の声が
悲しみ祈る声が

2. 背信のイスラエルよ
わがもとに帰り来よ
背^{そむ}きし罪責めじと
主は涙流したもう
許しの愛もて

3. 見よわれらは帰らん
主こそわれらが神
今なつかしき名をば
呼びて帰り仕えん
わがふるさと わが父

67. 主と共に生く

W. N. TSUJIMURA
M. M. NISHIDA

1. われ今主にて新たに生まれん

古きは去りて新しき人と
新たなる生命いのち川のごと流れ

その愛 光となりて輝く

※ (くりかえし)

われ主に侍らん誓たがい違たがわず
永久とこしえまでも主と共に生く

2. 創つくられし者皆清められ

罪咎とがことごと洗われし今は
このわが心ぞみ神のいおり庵

わが家ぞ祝福の園 愛の庭

※

3. 主に従う道 遠く峻しくも

歌いつつ歩まん勝利を信じ

われ真まことの父母はべに侍りたてまつり

日ごと証あかし続けんみ神の愛

※

68. 十字架に向かえり

W. N. TSUJIMURA
M. M. NISHIDA

1. ガリラヤのほとり貧しき村に
癒^{いや}しの業^{わざ}を証^{あか}せしイエスは
背^{そむ}きしエリヤにみこころ痛め
寂しく岸辺に一人たたずむ
ああ ああ その日より
主^ゆの行く道は十字架に向かえり
悲しみの道は十字架に向かえり
2. ゲッセマネの園^{その}に立ちしイエスの
悲しき祈^{たれ}り誰か知るや
眠りに倒れし弟子を哀れみ
一人裁きの庭に向かいぬ
ああ ああ その時より
主^ゆの行く道は十字架に向かえり
悲しみの道は十字架に向かえり
3. 父よ彼らを許したまえと
祈りしイエスの最後の叫び
神をも人をも涙に濡らし
悔いの涙は歴史を清めん
ああ ああ その丘より
新たな道は十字架を越えり
勝利の道は十字架を越えり

69. めざめて祈りつ

W. T. AMANO
M. M. NISHIDA

1. 右の目罪を犯す時には
一つの目もてみ国へ行かん
心は望めど力は弱し
目覚めて祈りつ悪に打ち勝たん
2. 正しきことを愛する心
悪しきことをば憎む心を
わが内にたまえ 父母よわが主よ
されば弱き身も悪に打ち勝たん
3. 群がる敵も憐れみ許し
とりなしたもうわが主の愛よ
正義と愛とをこの身に満たし
強き神の手にとらえたまえや

70. 善き闘いを成し終えて

W. T. AMANO
M. M. NISHIDA

1. 善き闘いを成し終えて
とわ 永遠のみ国に入りし君
天使天軍迎え立ち
たた 讃えの歌ぞ響きたる
2. 輝き集う神の民
いのち 命捧げし証人
かど 並び立ちたる門に入り
きぬ 白き義の衣まとう君
3. 臨終の息の中にさえ
いまわ 愛しまつりし主の前に
近く進みてねぎらいの
手をたまわるか 今君は
4. われもみ業にいや励み
わざ 天にぞ積まん善き宝
よ 勝ち歌唱う凱旋の
うと がいせん 君に相会うその日まで

第二部

71. 光るこの地 W. & M. ANONYMOUS (K)

1. しとしと五月雨さみだれ甘露となり
打ち寄す磯波いそなみ地をならし
こうこう照る月道明かし
深々しんしん降る雪 力添え
光る園光る園 うるわしこの国栄えあれ
2. そびゆる山脈ますらお丈夫生み
流れる川水烈女生み
山の木刻んで家づくり
実りを刈り入れ夕げ楽し
光る園光る園 うるわしこの国栄えあれ
3. 千代に八千代に栄えあれ
子を生子孫生み地に満ちて
手に手に花摘みこの土地に
ほほえみ浮かべて強く生く
光る園光る園 うるわしこの国栄えあれ

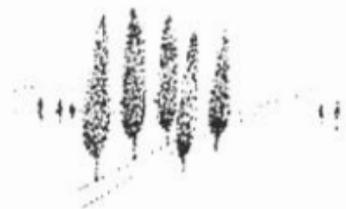
72. 嘆きを吹きとばせ W. & M.
ANONYMOUS (K)

1. 冷たい冬の木枯らしよ
残忍なその手を清めよ
春風吹きて香り満ちる
とだえたこの地を呼び起こせ
2. いかに残忍な雪風も
消えゆく運命のひとつき
春風吹きて香り満ちる
とだえたこの地を呼び起こせ
3. 起きよ春の蝶 ひばりよ
荒漠な国のつらい夢
春風吹きて香り満ちる
とだえたこの地を呼び起こせ

73. 愛郷歌

W. & M. ANONYMOUS (K)

祖先が築いたうるわし地
まことを尽くして成し遂げよう
新しき歴史はわれを呼ぶ
いのち生命を燃やして世のために
慕わし山や川 ふるさとよ
神が与えた永遠とわの国



74. 園の春

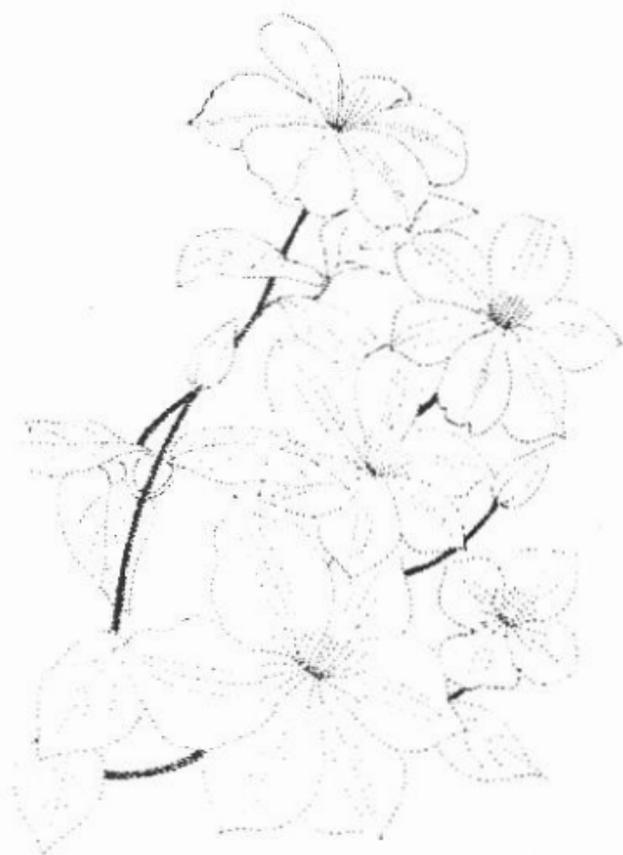
W. & M. ANONYMOUS (K)

1. 来たれ友よ園の春は季節と きに花咲き
うれし春を楽しむ エデンの友よ
すべて来たり踊り 春を歌おう
2. 来たれ園の友よホザナ 声高く
踊る園を迎え 楽し友よ
すべて来たり踊り 春を歌おう
3. 来たれ友よ園に集い 楽しく歌い
永遠とわに春を楽しむ エデンの友よ
すべて来たり踊り 春を歌おう

75. 愛の統一

W. & M. OSAMI KUBOKI

1. 聞け 怒濤^{どとう}の雄叫び^{おたけ}を
闇^{やみ}の歴史に悩みたる
嘆きの民が求め来し
解放 自由の旗高く
ああ 願いは愛の統一世界
2. 見よ 雄壮な旗並みを
輝く希望に胸躍り^{おど}
集えるわれら 火と燃えて
団結 勝利 限りなく
ああ 願いは愛の統一世界
3. 起て^た 万国の同胞^{ほうから}よ
熱と力と涙もて
道ははるかに遠くとも
救国 救世 たゆみなく
ああ 願いは愛の統一世界



76. わが心より

W. & M. KENJI NOMURA

1. わが心より求めし地よ
いま踏む大地 母の胸よ
小鳥は胸を弾ませて
七つの海を歌い行く
森に明けゆく朝日を浴び
光に満てる主を讃^{たた}えて

2. 父の願ひし理想の国
汗と涙で築き上げん
この^{ひとひら}一片の^こ木の葉にも
父の思ひはいかばかり
今ぞわが主の胸深く
^{よみがえ}蘇る大地 守り行かん

3. 長い歴史をただ一人
積もる思ひも語りえて
耐えきし父のその胸に
いつも浮かぶはあの丘よ
切なる父の願ひ胸に
力の限り 子もまた行く

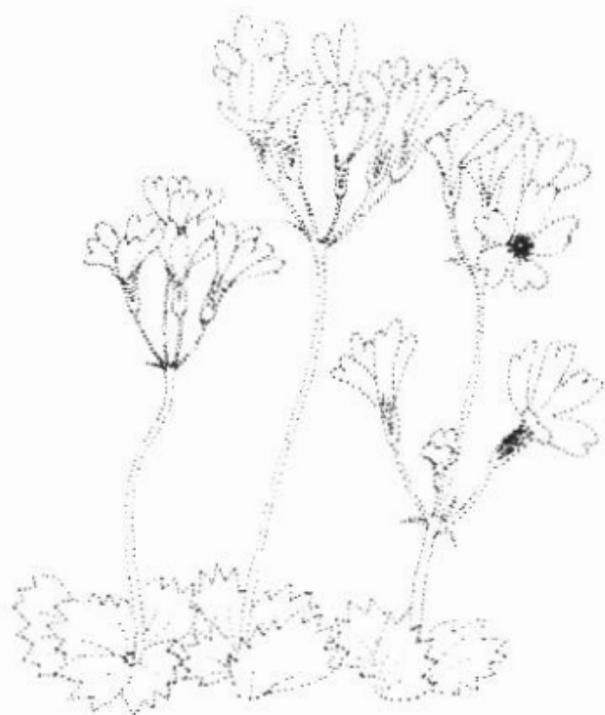
4. 世界の朝はしらじらと
いまこの地より明けてゆく
ああいとおしの^{はらから}同胞よ
涙の跡をいざ共に
先駆け行かん十字架の道
一つに集う その時まで



77. しあわせってなんだろう

W. & M. KENJI NOMURA

1. 幸せって何だろう 星に尋ねてみた
みんな仲良くすることさ 星は答えた
大きなお日さま中にして九つの星が回る
愛の光を受けながら これが幸せ
2. 幸せって何だろう バラに尋ねてみた
美しさを競うことさ バラは答えた
赤白黄色に装って どの花見ても可愛い
大事な花と言われれば これが幸せ
3. 幸せって何だろう ひばりに聞いてみた
高くはるかに飛ぶことさ ひばりは鳴いた
どんなに高く飛ぼうともお空の果ては遠い
まだまだ上にゃ空がある これが幸せ
4. 幸せって何だろう 羊に聞いてみた
主ぬしを捜していくことさ 羊は鳴いた
狼どもが襲っても 飼い主さんの声に
耳を向けてりゃ安心さ これが幸せ



78. 手をつなごう

W. KENJI NOMURA
M. TAMAE NISHIKAWA

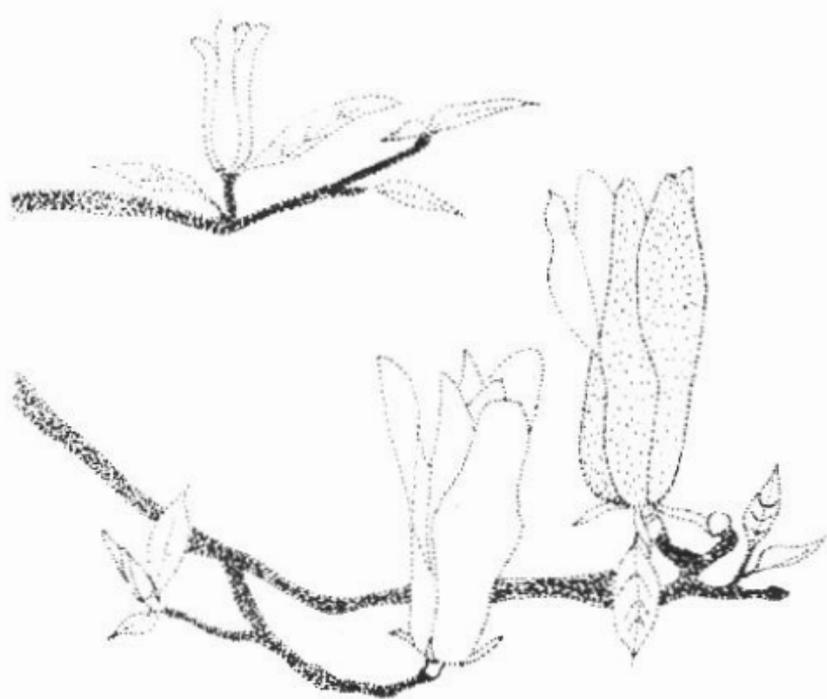
1. 光を求め寄り集う
世界の友よ手をつなごう
同じ人の血を受けながら
なぜ憎み合う兄弟よ
2. 過去の恨みは水に流し
世界の友よ手をつなごう
世界が滅べば何がある
耐え難い胸も今は忍べ
3. 求める道はみな一つ
世界の友よ手をつなごう
愛と真^{まこと}で語り合おう
みんな幸せになれる道
4. 乏しさ分かち譲り合い
世界の友よ手をつなごう
親の心で尽くさねば
どうして世界が栄えよう

5. 静かに胸に手を当てて
世界の友よ考えよう
自分が柱にならなけりゃ
誰が世界を支えるのか



79. 栄光の聖戦 W. & M. SHIGEYUKI IMAI

1. 理想は高く天を突き
足は確かに大地踏む
ああ栄光の聖戦に
臨むわが胸躍るなり
2. 負けてなるかと敵陣を
にらんで今日の戦いだ
ああこの^{いのち}生命続くまで
父母の願いに生きるのみ
3. 終末の時明かされた
み国の^{いしずえ}礎 大真理
地の果てにまで宣べ伝え
われらの使命を果たすのだ
4. 父母に愛され守られりゃ
一人立ちてもなお強し
ああ祈るなら示さるる
神の心情 ^{もと}本然の国



80. 美しいものを求める心は

W. & M. TOMOHIRO ISHIZAKI

1. 美しいものを求める心は

すでにそれだけで美しいのかもしれない
都会の夜空に星を探す人に
すでにそれだけで神の光の
輝きに満ちた幸せ色の
希望の明日が送られるのかもしれない

2. 美しいものを求める心は

すでにそれだけで美しいのかもしれない
野を舞う蝶々の羽が欲しい人に
すでにそれだけで大空の青さへ
向かって飛び立つ自由なはばたき
豊かな夢が送られるのかもしれない

3. 美しいものを求める心は

すでにそれだけで美しいのかもしれない
純白の雪にあこがれる人に
すでにそれだけで汚れることない
幼子おきなこの祈り 悲しみを越えた
清らかな思い送られるのかもしれない

4. もしもそうならば はるかな星空を
飛ぶ流れ星になりたいと願う私は
宇宙でははかなく燃え尽きる^{いのち}生命だけど
人の心には永遠な光を
抱けるように 絶えせない愛と
真実を尽くして生きてゆきたいのです



81. 春の旅に

W. & M.
TOMOHIRO ISHIZAKI

1. 暖かな日ざしに草原は歌う
歩む僕の手には蝶々が止まる
いつか地球を春がおおう日が来る
その日 世界は一つの家族になる
それは日の光に託された願い
野ばらと交わした春の約束

2. 青やかな葉風にさざめくこずえ梢は
旅終えた小鳥を休ませている
いつか地球を虹がおおう日が来る
その日 世界は一つの家族になる
それは春風の運んだ訪れ
幸せの歌 春のやすらい

82. 小さな生命

W. MICHIO FUJII
M. M. NISHIDA

1. 小さな小さな生命だけれど
なぜか誰かに捧げていたい
悲しみの町 苦しみの海
訪ねて 闇夜やみよの光になりたい
2. 小さな小さな生命だけれど
なぜか誰かに捧げていたい
大地は乾く 砂漠なだけに
旅人をもてなす 泉でいたい
3. 小さな小さな生命だけれど
なぜか誰かに捧げていたい
望みの消えた この国だけに
心を照らす燈火ともしびでいたい
4. 小さな小さな生命だけれど
なぜか誰かに捧げていたい
歴史は移る 世の末だけに
祈りを捧げて日の出を待ちたい

83. 生命の木

W. YASUSHI OHNOYA
M. M. NISHIDA

1. 今日まいた一つの種は
明日にはきっと芽を出すだろう
人の心を耕しながら
喜びの苗を植えてこよう
※ (くりかえし)
ああ生命の木 空に伸びろ
ああ生命の木 実りを結べ

2. 今日も誰か泣いてるだろう
明日にはどうかほほえむ顔に
人の心の悲しみ訪ね
喜びの光をともしてこよう
※

3. 今日も心結ばせながら
明日にはそれを世界のものに
人とまなざし交わし合って
喜びの園を広げてこよう
※

84. いつかそれがわかる

W. T. AMANO
M. TOSHIO OHKI

1. どんなにどんなに厚い雲の上にも
青空高く太陽は輝いてる
いつかそれがわかる いつかそれがわかる
雲が晴れてキラキラ踊る光に
それがわかる それがわかる それがわかる
2. どんなにどんなに涙が流れたって
もうすぐそこに喜びは近づいてる
いつかそれがわかる いつかそれがわかる
涙ぬぐい明るい明日を見れば
それがわかる それがわかる それがわかる
3. どんなにどんなに遠くつらい道でも
いつでもそばに神様がついているよ
いつかそれがわかる いつかそれがわかる
雨に風に足下にある小石に
それがわかる それがわかる それがわかる

85. 星

W. MICHIKO KUDO
M. SEJI TAKAHASHI

夜空にまたたく小さな光が
私の心に呼びかける
きよらかなその光が心を和らげる
満天の星 世界中の兄弟たちよ



86. The Lord is One

W.& M. DAN FEFFERMAN

1. All my brethren, can't you hear me say,
The Lord will love you forever and a day.
All my brethren, can't you hear me say,
The lord is one.
※ (くりかえし)
Oh can't you hear it, brother.
And won't you come along
To build the heavenly Kingdom
And sing a brand new song.
2. Call evrybody, try to understand,
We've got to start working, the time is at hand.
Call evrybody, try to understand,
The Day is come. ※
3. Lo on Mt. Zion (the) son of man appears;
to rule the house of Jacob for ten thousand years.
Lo, on Mt. Zion, (the) son of man appears,
And cries, It is done. ※
4. All bound together nobody can fall;
Loving each other loving one and all,
All bound together, nobody can fall,
Our race is one (our) race is won.
Our race is one.

87. I'll Never Leave You

W. HILLIE EDWARDS

M. AMERICAN TRADITIONAL MELODY

I'll never leave you anymore
for I have found in your bright eyes
a river of love, a heart of gold
a peaceful mind, a hand to hold.

And what'll I do with this precious gift?
Shall I embrace it to myself?
Oh, no I can't I would lose it sure
it must be given if it's to endure.

And how will I use this treasure store?
How will I share this wordless joy?
I'll greet all men with a loving heart
I'll speak the truth with a clear voice.

And together we'll build a world that's new
That's fit for kings and fit for queens;
We'll raise them up to rule the land
and place dominion in your hand.

We'll never leave you anymore
for we have found in your bright eyes
a river of love, a heart of gold
a peaceful mind, a hand to hold

愛唱歌

88. 栄光のハイウェイ

1. 夜明けは近い 世界の夜明け
輝く希望に 胸は躍る
一つに集え ^{よろず}万の民よ
その手で築け 愛の橋
ああ あこがれのハイウェイ
2. 世界に向かい 伸びる道
日本のこの地に 生まれり
世界の祈り 佐賀の都に
歴史にしるせ この時を
ああ 栄光のハイウェイ
3. 勝利は近い 天宙復帰
響け建設の つち音よ
^{まこと}真の父母様 中心に
世界は一つに 結ばれる
ああ 統一のハイウェイ

89. 幼子の夢

W.&M. SUNAO KODAMA

1. お父様と呼んでみたなら

そこには愛が 愛が 愛がある

広い世界のどこまでも

愛の花が咲いている

お父様って呼びたいな

ひと目この目で会いたいな

きらりと光るこの星にのり

あの花へ行って行って行ってみたいな

2. お母様と呼んでみたなら

そこには夢が 夢が 夢がある

空のかなたのどこまでも

希望の川が流れてる

お母様って呼びたいな

ひと目この目で会いたいな

ゆらりと揺れるこの舟にのり

あの川へ行って行って行ってみたいな

90. 主の道ってすばらしい

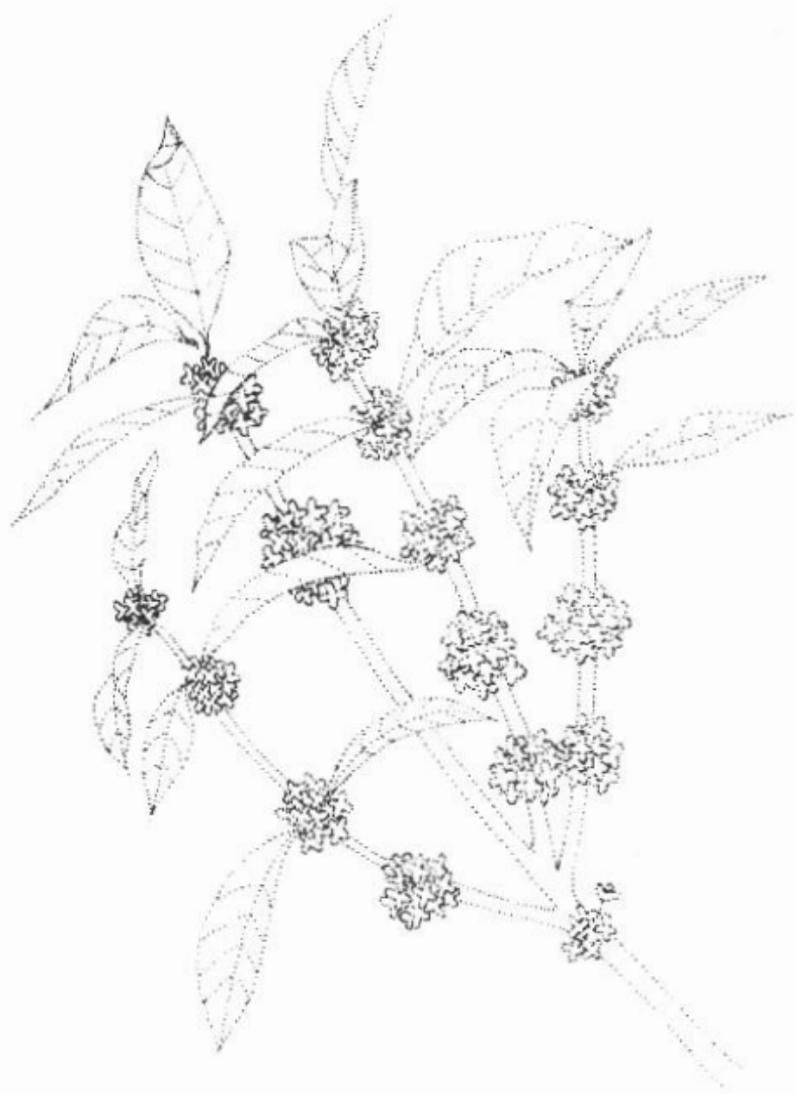
アボニムに笑いかけたら
そよ風が返ってくる
だから涙さえすぐにかわく
主の道ってすばらしい

※(くりかえし)

夢は両手にいっぱい ^{しね}み旨あるのみ
勝利は心の中に
ああ摂理が私を呼んでいる

会長がいつか言ってた
泥沼に花咲かそうと
だから一人でもさみしくない
主の道ってすばらしい
主の道ってすばらしい

※



91. 信仰のつばさ

1. 友よ あなたに信仰という名の
翼をあげよう これからのために
野原をさまよう 歩き疲れた
子羊のように あなたはさみしかった
信じることを忘れた世界から
今あなたが旅立つ時には
愛という名の広い大空を
自由に飛べるように

2. 大きく翼を広げてごらん
力強く飛び上がるために
初めて味わう喜びの息吹
これが神様の愛の世界です
今まであなたの苦労の涙が
信仰という名の翼になって
長く続いた心の重荷を
軽くしてくれるでしょう

3. 愛の大空を旋回しながら
神様の心 知ってください
いつかあなたが迷いし羊たちに
み^{ことば}言伝える時が早く来るように
神様の愛が 真^{まこと}の愛が
地上に届くことを願って
信仰の翼を大きくはばたけ
あなたは神の子だから

92. 立てよいざ自由のため

1. 立てよ いざ自由のため

打ち鳴らせ 新生の鐘
若き命かけ 守らん祖国を
暴虐の血に染みたる欺瞞の暴徒らを
打ち倒し真実の祖国を築かん

2. 忘るるな 祖国のため

流したる 数々の血を
命の限りに 愛せし祖国を
わが友よ勇気を出せ 正しく前を見よ
この国を滅ぼすは なに人なるかを

3. 戦わん 平和のため

退けば ただ死あるのみ
愛と真実で 興さん祖国を
兄弟よ 一人びとり国の柱となり
破局へと転げゆく 日本を救わん

4. 進め いざ世界のため

神のともしび 高くもち

^{まこと}
真のみ親に 結ばん祖国を

^{なが}
永かりし罪の歴史 一つに結ぶまで

十字架へのその道を 先駆け歩まん



93. ぶちぬけ火の玉

1. 止めても止まらない火の玉だ

ぶち抜け敵陣

六千年耐えてきた父の恨みを晴らせよ

お前たちを信じているよ

心配するな父がいる

約束をたがえたことがあるか

だからどんと^ゆ行け

2. 神が祝したもう火の玉だ

ぶち抜け敵陣

悪を焼き尽くす聖なる火 怒濤の進撃

お前たちは召された兵士

すべては神が成したもう

ベストを尽くせ 後は父がみる

だからどんと^ゆ行け

3. サタンの度胆抜く火の玉だ

ぶち抜け敵陣

最後は一人の戦いだ自分がやるのだ

お前に任された仕事を

勝利しなければみんな無駄

一人でも欠ければ胸が痛む

だからどんと^ゆ行け

4. 罪の根焼き尽くす火の玉だ

ぶち抜け敵陣

世界はそこから明けてゆく神の橋頭堡

お前たちですべてが決まる

中心の思いに気を合わせ

祈ってやれば勝利は固い

だからどんと^ゆ行け

94. 心を開けば

1. 濡れた瞳を そのままにしないで
風のささやき 聞いてごらん
いつか知らず 心も晴れる
そんなことは 誰にもある

悔やんでいないで 時の流れは
誰にも優しいわけではないのさ
心を開けば主の愛が いつも共にあるはず

2. 生きることに いつか気づいたなら
空のささやき 聞いてごらん
いつもあなたに 語りかける
雲と虹で 語りかける

希望とほほえみ 忘れかけたら
素直な自分を 見つめてみるのさ
心を開けば主の愛が いつも共にあるから

95. Over The Dream

1. 輝く明日に向かって旅立つ悲しみ乗り越え
涙をふいて 行こう元気を出して
人生の願い胸に旅立つ時には 過去の過ちは
みな忘れよう あなたの明日のために

生きる喜び知った日から あなたの道は
開き始める おお胸は熱く燃えながら
心の闇を貫いて行く 立ち上がれ 若き命よ
It's flying in the sky Over the dream

2. さあ行こう どこまでも力強く 希望の歌を
歌いながら 心ひとつにして
永遠の理想胸に旅立つ決意 勝利の旗を
高く掲げて 行こう海を越えて

愛する喜び知った日から あなたの心は
明るくなってゆく おお夢は虹を越えてゆく
誰もが願う愛の理想 輝け 若き命よ
It's flying in the sky Over the dream

96. Get Back To The Nature

1. 世界が生まれた日 喜びに包まれた
今では空の果て 夢よりもはるかな日
何かが叫んでる この胸の奥深く
僕らの時代からその日に戻したい もう一度

たとえば雨の中 あてもなくさまよえば
頬をつたうしずく 気がつけば涙になる
それは君が生きる 本当の喜びを
どこかに探してる 自分を見つけたから

※ (くりかえし)

Get back to the nature 夢を無くすな
Take a chance of your season 今がその時

2. 傷つき疲れて 後に残るものは
ひび割れた心 それとも苦笑い
人生の裏側に逃げ込むことはないさ
今君の前には 朝焼けの道がある

※

3. 世界を愛したら 不安が消えてゆく
自分を捨てたとき 真実が見えてくる
長い闘いの後 何を勝ち取るだろう
時を脱いだ生命 永遠の輝き

※



97. 飛翔

W. TERUHISA TAMAKI
M. TETSUYA SEKIKAWA

1. 暗いしじまから朝の便り

さしこむ光を迎え
飛び立つ翼が朝日受けて
輝きの空へはばたく

時間の岸から舟を出して
漕いで行く 大きな海へ
嵐の中さえくぐりぬけて
愛をつなぐ港目指し

飛び上がれ あの空高く
太陽に届くまで
世界は君のものさ
告げる開幕のベルが
ふるえてないで飛び出せ
大きな舞台へ 涙を忘れ

2. 流れる記憶のはざまから

呼びとめる黒いハーレクイン
振り返らないで過ぎ去った日は
昨日より若い明日へ

手をのばせば そこに いつも
大きな世界が
熟れる前の果実
青く 時を待っている
愛する程に 涙がダイヤのように
輝いていく

飛び上がれ あの空高く
太陽に届くまで
世界は君のものさ
告げる開幕のベルが
ふるえてないで 飛び出せ
大きな舞台へ
涙を忘れ

98. 涙の歴史

1. 涙でつづる主の道は

孤独な父を慰めて
神の歴史をひもといて
涙でにじんだ1ページ

※（くりかえし）

早く過ぎ去れ 青春よ
血のにじむ闘いの中で
ただひたすら 待ち続けた
まこと
真の母を探して

2. 異国の地へとただひとり

神のみ ^{ことば}言たずさえて
自分の命を投げ捨てて
神の願いを果たすため
早く過ぎ去れ 青春よ
闘いは子女たちが受けて
ただ苦勞を 追いつけた
まこと
真の父母をめざして

血と汗と涙の祈りから 産声があがる
信仰よ炎と燃え上がれ 世界の果てまで ※

99. 엄마야 누나야

오ム마ヤ　ヌナヤ

엄마야　누나야　강변　살자
오ムマーヤ　ヌナヤ　カンビョン　サル지야

뜰에는　반짝이는　금모래　빛
트올레ヌン　반치야기ヌン　금모레　빚

뒷문　밖에는　갈잎의　노래
뒤ムン　박케ヌン　카리베　노레

엄마야　누나야　강변　살자
오ムマーヤ　ヌナヤ　カンビョン　サル지야

オンマヤ

お母さん　お姉さん　川辺に住みましょう
庭には　キラキラ光る金砂の光
裏門を出ると　葦の葉の歌
お母さん　お姉さん　川辺に住みましょう

100. 아리랑
아리랑

아리랑 아리랑 아라리요
아리랑 아리랑 아라리요

아리랑 고개로 넘어간다
아리랑 코개로 노모칸다

나를 버리고 가시는님은
나를 버리고 가시는님은

십리도 못가서 발병난다
십리도 못가서 발병난다

아리랑

아리랑 아리랑 아라리요
아리랑峠を越えていく
私を捨てていく君は
一里も行けずに足が痛む

101. 우리의 소원

ウリエ ソウォン

우리의 소원은 통일 꿈에도 소원은 통일
ウリエ ソウォスン トンイル ク메ド ソウォスン トンイル

이 목숨 바쳐서 통일 통일이여 오라
イ モクスム バチョソ トンイル トンイリヨ 오라

이 겨레 살리는 통일
イ 기ョ레サル리스ン トンイル

이 나라 찾는대 통일
イ 나라 チヤンスン데 トンイル

통일이여 어서 오라 통일이여 오라
トンイリヨ オソ 오라 トンイリヨ 오라

私たちの 願い

私たちの願いは統一 夢にも願う統一
この命を^{なま}献げて統一 統一よ来い
この民族を救う統一 この国の復帰も統一
統一よ早く来い 統一よ来い

102. 단심가

탄심가

이몸이 죽고 또죽고 일백백 고쳐 죽어
 이모미 쥬쑤코 토쥬고 일백백 코초 쥬고

백골이 진토되어 뉘이라도 있고없고
 베크코리 찬트테오 누시라도 이코오코

임향한 일편단심 가실줄이 있으랴
 이뮬비안한 일비온탄심 카실쥬리 이쓰리야

임향한 일편단심 가실줄이 있으랴
 이뮬비안한 일비온탄심 카실쥬리 이쓰리야

丹心歌

幾度 死すとも 碎け散るとも
 たとえ 身も魂も 朽ち果つとも
 慕わしき わが主に 捧げまつる
 熱き この胸の 忠誠消えず

103. 사랑의 미로
サラング ミロ

그토록 다짐을 하전만
クトロク タジムル ハゴンマン

사랑은 알수 없어요
サラングン アル스 오브ソヨ

사랑으로 눈먼 가슴은 진실하나에 울지요
サラングロ スンモン 카스문 친실하나에 울지요

그대 작은 가슴에 심어준 사랑이여
크데 차가غن 카스메 시모즈운 사라angi요

상처를 주지 마오 영원히
산치올르르 चुजि माओ यonwo니

끝도 시작도 없이 아득한 사랑의 미로여
크트트 시자얏트 오브시 아드우칸 사라ngu 미로요

愛の迷路

そんなに誓いをしますが

愛というのはわかりません

愛で盲目になった胸は 眞実ひとつに泣きます

私の小さい胸に 刻んだあなたの愛よ

私を 傷付けないで下さい 永遠に

終わりも 始めもなく 果てしない愛の迷路よ

104. 사랑해

サランヘ

사랑해 당신을 정말로 사랑해
サランヘ タンシヌル チョンマル로 サランヘ

당신이 내걸을 떠나 간 뒤에
탄시니 네기오텔 토나 갠 테이

얼마나 눈물을 흘렸는지 모른다오
올마나 슌뭄룰 풀리온스즈 몰른다오

에이 예이 예이
이아이 이아이 이아이

에이 예이 예이
이아이 이아이 이아이

사랑해 당신을 정말로 사랑해
サランヘ タンシヌル チョンマル로 サランヘ

愛している

愛するあなた 愛はひとすじ
あなたと別れて わたしはひとり
流した涙は いまでも熱い
이아이 이아이 이아이
愛しているの あなた あなたひとすじ

105. 보리밭

ポ リ バツ

보리밭 사잇길로 걸어가면
ポ リ バツ サ イ ツ キ ル ロ コ ロ カ ミ ョ ン

뉘부르는 소리있어 나를멈춤다
ヌ イ ブ ル ヌ ン ソ リ イ ツ ソ ナ ル ル モ ム チ ム 다

옛생각이 의로워 휘바람불면
イ ャ ャ セ ン 가 기 우 에 로 우 오 피 바 람 부 름 미 ョ ン

고운노래 컷가에 들려온다
코 운 노 래 퀴 ャ 가 에 톨 러 오 ン 다

돌아모면 아무도 보이지않고
토 라 모 미 ョ ン 아 무 도 베 이 지 아 ン 고

저녁놀 빈하늘만 눈에 차누나
저 옴 노 름 빈 하 늘 만 누 네 차 누 나

麦畑

麦畑の小道を歩けば
誰か呼ぶ声があつて 私を止める
昔の思いが淋しくて口笛を吸けば
美しい歌が 耳元に聞こえてくる
振り返って見ると 何も見えないで
夕陽だけが目にうつる

106. 노란샤쓰 입은 사나이
ノランシャス イブン サナイ

노란 샤쓰입은 말없는 그 사람이
ノラン シャス イブン マロムスン ク サلامي

어쩐지 나는 좋아 어쩐지 맘에들어
오톨쵸지 나스츨쵸아 오톨쵸지 마메투로

미남은 아니지만 씩씩한 생김생김
미나ムン 아 니지만 시크시칸 센김센김

그이가 나는 좋아 어쩐지 맘에쏠려
크이가 나스츨쵸아 오톨쵸지 마메솔리요

아—아름다운 마음 처음 느껴본 심정
아—야르뭇탄 마움 초우ム 스킨쵸본 심쵸진

아—그이도 나를 좋아하고 제실까
아—크이드 나르르 초아 하코 케실카

노란 샤쓰입은 말없는 그 사람이
ノラン シャス イブン マロムスン ク サلامي

어찌지 나는 좋아 어쩐지 맘에들어
오톨쵸지 나스츨쵸아 오톨쵸지 마메투로

黄色いシャツ着たひと

黄色いシャツ着た無口な男

美男じゃないけどあの人が好き

ああ胸が痛む 彼も私が好きかしら

107. 도라지

トラジ

도라지 도라지 백도라지
トラジ トラジ ベッコラジ

심심산천에 백도라지
シムシムサンチョネ 베ッコ라지

한두뿌리만 캐어도
ハンドブリマン ケオド

대바구니로 반썬만 차는구나
テバクニロ パンシマン チャヌグナ

에헤요 데헤요 에헤야
エヘヨ テヘヨ エヘヤ

어여라 난다 지화자 좋다
オヨラ ナンダ チファジャ チョッタ

저기 저 산밑에 도라지가 한들 한들
チョギ チョ サンミツテ トラジガ ハンドウル ハンドウル

トラジ

トラジを取りに山奥へ
カゴにいっぱい取れました
あちらの山のふもとにも
白いトラジの花がゆれている

108. 서울의 찬가

ソウレ チヤンガ

종이 울리네 꽃이 피네 새들의 노래
チョンギ ウルリ네 コッチ ビ네 セドウレ ノ레

웃는 그 얼굴
ウンスン ク 올ぐる

그리워라 내 사랑아 내 걸을 떠나지 마오
クリウオラ 네 사랑가아 네 키오톨 토나지 마오

처음 만나고 사랑을 맺은 정다운 거리
초움 만나고 사랑을 맺은 정다운 거리

마음의 거리
마우메 코리

아름다운 서울에서 서울에서 살으렵니다
아름다운 서울에서 서울에서 살으렵니다

ソウル讚歌

鍾が鳴る 花が咲く 鳥たちの歌

笑うその顔

懐しいなあ 私の愛する人よ 私のそばを
離れないで

初めて会って 愛を結び合った 愛情の道
心の道

美しいソウルに ソウルに 住みたいなあ